

令和7年度 第2回大和町地域公共交通会議 議事録

日 時：令和7年11月19日（水）午前10時00分～午前10時45分

場 所：大和町役場 3階 302会議室

出席者：千葉 喜一会長、中村 力委員、徳永 幸之委員、曾根 崇委員、小川 実委員
早坂 秀男委員、内海 賢一委員、藤江 昭夫委員、若生 昇委員、堀籠 美江子委員
二瓶 智樹委員、関澤 京子委員、西川 和宏委員、高橋 義喜委員（代：清久 博成 様）、
江本 篤夫副会長、出席委員15人

欠席者：長尾 勝吾委員、工藤 浩太郎委員、結城 義秀委員、佐藤 雅之委員

事務局：まちづくり政策課 遠藤課長、菅野、市川

1. 開 会 進行 遠藤課長 10:00～

過半数出席のため、会議が成立する旨報告。

2. あいさつ（副町長）

皆さま、おはようございます。本日は、お忙しい中 「令和7年度 第2回 大和町地域公共交通会議」 にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、午前10時という業務のご多用な時間帯にもかかわらず、多くの委員の皆さまにお集まりいただきましたこと、心より御礼申し上げます。日頃より、地域公共交通の運行維持および改善に向け、各委員の皆さまには、それぞれのお立場から多大なるご理解とご協力を賜っております。改めて深く感謝申し上げます。本日の会議は今年度第2回目となりますが、皆さまにご審議いただく主な事項として、

1. 令和7年度 地域内フィーダー系統確保維持費に係る国庫補助金の交付申請について
2. 令和8年度の町民バスおよびデマンドタクシーの運行計画案について
3. その他、報告事項が3件

以上の内容をご説明し、ご審議、ご意見をいただく予定です。町といたしましても、持続可能な公共交通網の構築に向け、各委員の皆さまからの貴重なご意見を、今後の行政運営にしっかりと反映してまいりたいと考えております。なお、季節柄、寒さが厳しくなりつつあり、宮城県内ではインフルエンザの非常事態宣言も発令されております。また、町内でも学校での集団感染が発生するなど、感染症への懸念が高まっている状況です。委員の皆さまにおかれましても、体調管理には十分にご留意いただき、健康にお過ごしいただければ幸いです。本日の会議が、今後の大和町における公共交通のさらなる改善につながる実りあるものとなりますよう、皆さまのご協力をお願い申し上げまして、開会の挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議事

設置要綱第7条の規定により、千葉副町長（会長）が議長となり、議事を進行。

議案第1号 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の交付申請について
（資料P1～4 参照）10：04～10：07 事務局（菅野）より説明

特に質疑なし 議案第1号 【原案どおり承認】

議案第2号 令和8年度町民バスおよびデマンドタクシー運行計画案について
（資料P5～8 参照）10：08～10：16（菅野）より説明

質疑

徳永委員： 今回の宮床地区のダイヤ改正ですが、これは現在と同じく“1台運行”の体制で対応できる、という理解でよろしいでしょうか。

事務局： はい、可能でございます。今回の改正内容は、車両を増やすことなく、現状の1台で無理なく運行できるようにダイヤを再編しております。

徳永委員： ありがとうございます。では、宮床地区だけが今回改正の対象となり、吉田・鶴巣・落合など他の地区には手を加えないということですが、その理由を教えてくださいいただけますか。

事務局： 他地区につきましては、利用状況やアンケートを確認した限り、“現行の運行でおおむね満足している”という結果が大半でした。特に帰りの便については、午前に受診し、お昼の12時便で帰るという利用パターンが多く、今のダイヤがニーズと合致している状況でございます。そのため、現時点では大きな見直しの必要はないと判断いたしました。

徳永委員： 資料16ページを拝見しますと、吉田・鶴巣地区の朝の便がかなり多くの方に利用されています。一方で、帰りはそこまで伸びていないようですが、行きと帰りの時間帯をより連動させて、もう少し使いやすくすることはできないのでしょうか。

事務局： ご指摘の点、承知しております。吉田・鶴巣地区では、障害のある利用者の方が定期的にご利用されているケースが比較的多く見受けられます。そのため医療目的以外での利用が考えられ第8便の利用の方が多くなっていると推察しています。委員からご意見のありました『行きと帰りの連動性』については、改善の余地があると捉えておりますので、今後の分析と検討に生かしてまいります。

徳永委員： 最近AIデマンドなど高度なシステムもありますが、費用が相当高額です。今回導入されるWeb予約システムは、どの程度の規模で、費用感はどれくらいなのか教えてください。

事務局：はい。今回導入予定のシステムは、いわゆる“AI 型の高額なシステム”ではございません。現在のシステムは利用料と保守料で 60 万円程度となっており、今の電話予約と連動する形で、利用者の方が Web から予約できる機能を追加するものです。費用は、導入初年度：約 200 万円、翌年度以降の維持費が 80～90 万円程度となる見込みのため大幅に費用が増えるものではありません。なお、Web から予約が入っても、運行事業者のオペレーターが内容を確認し、承認する方式を予定しています。

曽根委員： アンケートを見ると、泉中央まで行けないかという意見が複数ありました。町として延伸のご検討はされていないのでしょうか。

事務局： ご意見は承知しております。しかしながら、泉中央方面には宮城交通さんの既存路線があり、自治体をまたぐ運行となるため、仙台市との協議、既存民間路線との調整、路線許認可など、ハードルが非常に高い状況です。そのため、現時点で町としてそれを進める予定はございません。

関澤委員： 今年度から JCHO 仙台病院まで延伸していますが、今年度は実証運行という位置付けで来年度以降は本格運行という形でしょうか。

事務局： 自家用有償運送に実証運行という区分はありませんが、委員ご承知のとおり今年度の延伸は『試行的な運用』として開始しました。ただ、一定の利用が見込まれていることから、来年度以降は本格運行に移行するイメージで継続したいと考えております。なお、仙台市側の公共交通会議での協議が必要となるため、その点も含め調整を進めてまいります。

議案第 2 号 【原案どおり承認】

4. 報 告 10：29～10：45

- ・町民バスの G T F S－J P データ整備について
(資料 P 9～13 参照) 10：29～10：34 (菅野) より説明
- ・令和 7 年度町民バス・デマンドタクシーの運行状況について
(資料 P 15～17 参照) 10：35～10：38 (菅野) より説明
- ・町民バス乗降調査の結果につて
(資料 P 19～23 参照) 10：39～10：45 (菅野) より説明

5. 閉 会 10：45